

# 京林大だより

No.17



絵:卒業生 熊走君



## 謹賀新年

本年も林大一同頑張ってまいります  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます



## 2014年 林大ランキング★TOP10★

### No.1

ついに！林大初の卒業生が林業界にデビュー（4月）  
17名の1期生が今春から各地で活躍開始（裏面に掲載）。

### No.2

フレッシュ  若者20名が入学  
明日の林業界を担う第3期生が集結。

NHK大阪放送局が林大生を取材！！  
「週末応援テレビあほやねん・すきやねん」で林大生をクローズアップ。

### No.3

初めての林業現場 インターンシップ研修  
林業の現場で1週間のOJT研修。

### No.4

須知高校学校林（ウィードの森）  
高校生と協力し間伐作業  
伐った材も丹波PAで活用されます！



(ウィードの森)

### No.5

2ヶ月間しっかり学んだ キャップストーン研修  
林業の先輩から知識・技術を学ぶ。

### No.6

2年生 ドイツ研修  
見聞を広げる。同じ志を持つドイツの若者と交流。



(地域と交流)

### No.7

大盛況！オープンキャンパス  
来校者は昨年を上回る約60名。

### No.8

地域と交流ー地域に根ざす学校ー  
和知ふるさとまつり、京丹波でシイタケの原木伐採、  
亀岡での筏流し、京都丹波エキスポで丸太椅子販売

### No.9

★林大名物★日本海ウォーク全員制覇

### No.10

林大生対外試合で大活躍！！  
木こり技能大会【優勝】、3林大技能大会【優勝日本一！】  
森林・林業交流研究発表会【審査委員長賞】



(対外試合)

## ★かがやく★1期生★

今回は京都府内で働く、卒業生3人を紹介します

### 野間 <sup>まさき</sup> 大樹

4月に舞鶴市森林組合に就職してから約9ヶ月がたちました。当初は、ついていくのがやっとで、特に夏場の下刈りはいつもヘトヘトになりながら作業していました。

今では仕事にも慣れ、体力も上がってきたと同時に自信もついてきました。最近では、間伐や森林調査を行っています。

今後は、作業道の作設や測量など、様々な仕事ができるよう腕を磨いていきたいと思っています。

在校生の皆さん、林大で過ごす時間を大切に、自分の目標に向かって頑張ってください。影ながら応援しています。



(野間くん)



(野原くん)



(古原親子、右：古原くん)

### 野原 <sup>たつや</sup> 達矢

私は、4月から有限会社日新製材所で働いています。作業はギャングとよばれる機械で切断され、ローラーで結束機まで運ばれてきた木材の処理を担当しています。常に結束機の傍らに立ち、木材を定められた数に積み上げていきます。木材の種類によって、ローラーから大量に運ばれてくる場合も多く、絶えず手的確に動かさなければ、結束機が木材で埋まることになってしまいます。ギャング内の刃を調整するため、時には1時間も作業が中断することもしばしばありますが、作業前には結束機内の清掃や点検を毎日行っています。

### 古原 <sup>たくや</sup> 拓也

4月林業大学校を卒業後、実家に帰り、父親と共に林業、土木作業に従事しています。

夏場の主な仕事は、林道開設のための伐開及び重機施工、また林道などの災害復旧工事や、一般土木、支障木特殊伐倒、注文材搬出、広葉樹造林請負などの作業をしています。冬場は重機による除雪作業が主になります。

また、山主様より60haの森林の施業を任せさせていただく事になり、来春から作業道の開設及び間伐作業が始まります。父に頼らず出来る限り自分で考え自分で作業し、自身の成長につなげたいと思います。

今後の目標は、土木施工管理技士、大型車の資格取得。早く現場を任せえてもらえるようになること。林業分野の仕事割合を増やし、いろいろな樹種の植林にもチャレンジしたいと思っています。



## 校長室より

### 『森林・林業交流研究発表会入賞』

校長 只木良也

今号、昨年11月27～28日、近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流研究発表会で、京林大チームが審査委員長賞を受賞しました。近畿・中国地方と福井・石川両県の国有林の管理経営を担当する近畿中国森林管理局（大阪所在）は毎年、管内の森林管理署、府県の研究・教育・指導機関などに呼びかけ、スタッフの研究発表会を開催しています。今回は15件ほど発表があり、京林大2年生チーム(6名)は、「現場研修の実績例」などを発表しました。「研究」ではなかったものの、なかなか発表うまく、審査委員長特別賞を受賞した次第です。

この京林大チームは、28日午前発表、午後は実習のため、午後の表彰式には出られませんでしたので、賞状・賞品は校長が代理で受領しました。

賞状を受けて直ぐ、ちょっとマイクを借りて、校長コメント。

「将来を担う林大学生諸君は、時間が大事で、実習に……。代わりに校長が賞を受け取るといういい役回りとなりました。今回発表のとおり、新設の京林大、大きな夢を持って、鋭意努力中です。当校へ講義に来ていただいた皆川農林次官の講義題名も、『日本林業の将来を君たちに託す!』でありました。京都林大の今後、期待を持って見守ってやってください。よろしく。」

審査委員長の講評では、京林大の発表内容について、明日を担うまじめさ、現場重視の態度・方策、地域と共いの態度、を評価したとのこと。「地域と共に」が評価されたのは、嬉しいことでした。地元